

平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成26年2月10日

上場会社名 株式会社パピレス

上場取引所 東

コード番号 3641 URL <http://www.papy.co.jp/info/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 松井康子

問合せ先責任者 (役職名) 取締役総務・経理部長 (氏名) 須永喜和

TEL 03-3590-9460

四半期報告書提出予定日 平成26年2月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第3四半期の業績(平成25年4月1日～平成25年12月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	5,043	23.2	460	61.7	499	57.7	311	56.9
25年3月期第3四半期	4,094	17.5	284	39.7	316	41.9	198	49.2

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	124.11	122.87
25年3月期第3四半期	80.61	79.67

(注)当社は、平成25年10月1日付で普通株式1株につき2株の株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり四半期純利益」及び「潜在株式調整後1株当たり四半期純利益」を算定しております。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第3四半期	3,960	2,522	63.7
25年3月期	3,501	2,221	63.4

(参考)自己資本 26年3月期第3四半期 2,522百万円 25年3月期 2,221百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0.00	—	10.00	10.00
26年3月期	—	0.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	5.00	5.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

当社は、平成25年10月1日付で普通株式1株につき2株の株式分割を行っております。平成25年3月期については当該株式分割前の実際の配当金の額を記載しております。

3. 平成26年3月期の業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,080	26.9	611	38.2	644	29.4	400	27.8	159.19

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

当社は、平成25年10月1日付で普通株式1株につき2株の株式分割を行っております。業績予想の「1株当たり当期純利益」につきましては、当該株式分割後の発行済株式数(自己株式数を除く)により算定しております。

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期3Q	2,581,720 株	25年3月期	2,581,720 株
② 期末自己株式数	26年3月期3Q	67,088 株	25年3月期	68,088 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期3Q	2,513,810 株	25年3月期3Q	2,466,909 株

(注) 当社は、平成25年10月1日付で普通株式1株につき2株の株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、発行済株式数(普通株式)を算定しております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表に対するレビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期財務諸表 .....	4
(1) 四半期貸借対照表 .....	4
(2) 四半期損益計算書 .....	5
第3四半期累計期間 .....	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	6
(継続企業の前提に関する注記) .....	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	6

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間における我が国経済は、景気が緩やかに回復しつつあります。企業収益および雇用情勢は改善し、個人消費も持ち直しています。しかしながら、海外景気の下振れが、引き続き我が国の景気を下押しするリスクとなっています。

通信端末の市場環境は、IDC Japan株式会社によれば、スマートフォンについて、平成25年の国内加入者を、5,105万人と推計し、平成26年も順調に拡大すると予測されています。なお、平成25年7月～9月の携帯電話総出荷台数におけるスマートフォン出荷比率は、76.5%と報告されています。

また、タブレットについて、平成25年7月～9月の出荷台数が176万台（前年同期比63.9%増）となり、順調に市場拡大を続けていると報告されています。

電子書籍の市場環境は、株式会社インプレスビジネスメディア『電子書籍ビジネス調査報告書2013』によれば、平成24年度は729億円（前年度比15.9%増）と推計されています。また、これまで電子書籍市場の中心を担ってきた、携帯向け電子書籍市場は、351億円（前年度比26.9%減）と推計されていますが、新たなプラットフォーム（スマートフォンやタブレット等）向け電子書籍市場は、368億円（前年度比228.6%増）と、携帯向け電子書籍市場の落ち込みを上回るほど急速に拡大していると推計されています。同報告書では、平成25年度以降は、新たなプラットフォーム向け電子書籍市場が市場の中心となり、平成29年度の市場規模は、平成24年度の約3.3倍の2,390億円程度になると予測されています。

当社を取り巻く事業環境は、大手企業の参入をきっかけとして、競争が激化しています。この結果、掲載コンテンツの需要が増加し、出版社等のコンテンツホルダーからの仕入コスト上昇のリスクが高まっています。また、集客を強化するための広告宣伝や販促コストも増加傾向となっています。

このような環境の中で、当社は顧客第一主義のもと、サービスの向上と差別化によって、売上高を伸ばすとともに、収益体質の改善に努めています。

売上原価については、コンテンツホルダーへのきめ細かな営業活動によって、これまでの仕入コストの比率を維持し、その上昇リスクを抑制しています。

また、販売費及び一般管理費については、広告宣伝や販促のコストは増加したものの、継続的な内容の見直しを行い、その効率化を進めています。

この結果、当第3四半期累計期間の経営成績は、売上高は5,043百万円（前年同期比23.2%増）、営業利益は460百万円（前年同期比61.7%増）、経常利益は499百万円（前年同期比57.7%増）、四半期純利益は311百万円（前年同期比56.9%増）となりました。

当社の事業は電子書籍事業のみであり、事務所も本店のみとなっているため報告セグメントはありません。以下、事業の業績を示すと次のとおりであります。

#### <電子書籍事業>

##### ① 本店による電子書籍販売

当第3四半期累計期間においても、引き続き3P（プロモーション・プレイス・プロダクト）戦略による販売拡大を図りました。プロモーション戦略とは、広告やポイント付与等を用いた集客施策を指し、プレイス戦略とは、サイト改良やサイトを利用する上での、サービス内容改良等によるユーザー利便性の向上施策を指し、プロダクト戦略とは、掲載冊数拡充などのコンテンツ施策を指します。

プロモーション戦略としては、効果の高い広告の選定やポイント付与等、購買に結びつく集客に注力しました。また、twitter、Facebookを活用してのPR企画の継続的な実施、「電子貸本Renta!」の個人向けアフィリエイトプログラムの利用対象を、タブレットユーザーへ拡大いたしました。

プレイス戦略としては、「電子貸本Renta!」の発売予定商品の表示機能の追加、サイトリニューアル、アプリ改良を実施し、使いやすいサイト構築、電子書籍を閲覧しやすい仕組みづくりを行いました。

プロダクト戦略としては、コミック、小説・ノンフィクション、ビジネス書、趣味実用書等、幅広いジャンルの書籍を入荷しました。株式会社秋田書店及び株式会社スクウェア・エニックスのコミックの配信開始、デジタルに特化した「次世代コンテンツ」の開発を行いました。「次世代コンテンツ」として、当社が独自開発したデジタルならではの動きを付加した「コミックシアター」の提供を開始しています。また、電子書籍作品投稿サイト「upppi」において、オリジナルコンテンツの開拓を進めています。

なお、平成25年12月末現在における掲載冊数の合計は203,030冊（コミック76,899冊、小説・ノンフィクション69,185冊、写真集35,087冊、その他21,859冊）、当第3四半期累計期間における販売冊数は21,784,383冊（コミック20,195,486冊、小説・ノンフィクション1,205,613冊、写真集71,475冊、その他311,809冊）となりました。

この結果、当第3四半期累計期間における本店による電子書籍販売の売上高は4,866百万円（前年同期比20.4%増）となりました。

② 提携店を通じた電子書籍販売

ヤフー株式会社、Amazon社等のポータルサイトやECサイトとの提携による、電子書籍委託販売や取次販売を行っております。また、中国のテンセント社、フィンランドのAmimaru社等、海外のインターネットサービス会社と提携し、海外への販売活動を行っています。

この結果、当第3四半期累計期間における提携店を通じた電子書籍販売の売上高は172百万円（前年同期比259.2%増）となりました。

③ その他

その他、電子書籍の図書制作売上等を計上しております。

この結果、当第3四半期累計期間におけるその他の売上高は3百万円（前年同期比36.5%減）となりました。

（注）「Twitter」は、Twitter, Inc. の商標です。

「Facebook」は、Facebook, Inc. の商標です。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

流動資産は、前事業年度末と比べて、582百万円（18.2%）増加し、3,787百万円となりました。

主な増加内容として、現金及び預金が559百万円増加、売掛金が30百万円増加しております。

固定資産は、前事業年度末と比べて、123百万円（41.5%）減少し、173百万円となりました。

主な減少内容として、投資その他の資産が122百万円減少しています。

なお、当第3四半期累計期間において、重要な設備の新設および除却はありません。

この結果、資産合計は、前事業年度末に比べて、458百万円（13.1%）増加し、3,960百万円となりました。

(負債)

流動負債は、前事業年度末と比べて、158百万円（12.4%）増加し、1,438百万円となりました。

主な増減内容として、買掛金が94百万円増加、未払金が79百万円増加、未払法人税等が37百万円減少しています。

この結果、負債合計は、前事業年度末に比べて、158百万円（12.4%）増加し、1,438百万円となりました。

(純資産)

純資産合計は、前事業年度末と比べて、300百万円（13.5%）増加し、2,522百万円となりました。

主な増加内容として、四半期純利益311百万円の獲得を計上しております。

この結果、自己資本比率は63.7%（前事業年度末は63.4%）となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年3月期の業績予想につきましては、売上高は7,080百万円、営業利益は611百万円、経常利益は644百万円、当期純利益は400百万円を予想しています。

これは、平成25年9月13日の「第2四半期累計期間及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」で公表いたしました業績予想と変更ありません。

また、上記業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づくため、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

2. 四半期財務諸表  
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成25年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,976,493	2,535,618
売掛金	794,128	824,368
有価証券	265,812	262,219
コンテンツ資産	1,044	1,887
その他	171,055	167,038
貸倒引当金	△3,621	△3,983
流動資産合計	3,204,912	3,787,148
固定資産		
有形固定資産	7,787	6,696
無形固定資産	234	234
投資その他の資産	288,908	166,676
固定資産合計	296,929	173,606
資産合計	3,501,841	3,960,755
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	595,507	689,704
未払金	309,302	388,687
未払法人税等	128,711	91,485
賞与引当金	35,303	13,611
その他	211,142	254,892
流動負債合計	1,279,967	1,438,381
負債合計	1,279,967	1,438,381
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	414,462	414,462
資本剰余金	189,389	189,456
利益剰余金	1,688,322	1,987,733
自己株式	△70,311	△69,278
株主資本合計	2,221,862	2,522,373
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	12	—
評価・換算差額等合計	12	—
純資産合計	2,221,874	2,522,373
負債純資産合計	3,501,841	3,960,755

(2) 四半期損益計算書  
(第3四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
売上高	4,094,848	5,043,308
売上原価	1,700,901	2,069,127
売上総利益	2,393,947	2,974,180
販売費及び一般管理費		
広告宣伝費	1,322,288	1,616,640
代金回収手数料	382,696	424,520
貸倒引当金繰入額	3,322	3,983
賞与引当金繰入額	6,694	8,349
その他	394,378	460,465
販売費及び一般管理費合計	2,109,380	2,513,959
営業利益	284,566	460,220
営業外収益		
受取利息	4,186	5,175
為替差益	5,580	17,905
退会者未使用課金収益	22,163	15,945
その他	0	0
営業外収益合計	31,931	39,026
経常利益	316,498	499,247
税引前四半期純利益	316,498	499,247
法人税、住民税及び事業税	119,513	186,315
法人税等調整額	△1,879	952
法人税等合計	117,633	187,268
四半期純利益	198,865	311,979

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。